



## イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

### 第 594 回 「首長」こそ、街を変えることができる！

2014.9.14

これほどマスコミの「恰好の餌食」として、これほど、ふさわしい人物はいないかもしれない。

**樋渡啓祐**(ひわたし・けいすけ)44 歳、「保育園中退、小学校登校拒否、中学校は通ったが、高校ひきこもり、大学寝たきり。今も集団行動がダメ、協調性ゼロです…」と自らを語る樋渡氏だが、東京大学経済学部を卒業、総務庁(現総務省)を経て関西大学客員教授歴任と、優秀で大変立派な経歴の持ち主である。2008 年から佐賀県武雄市長を務めている。

市立病院の民間移譲を行い、それに反対する市民グループや医師会のリコールを受け、2008 年に辞職し、出直し選挙で再選される。平成 26 年 4 月、武雄市長に 3 期目(出直し選を含め 4 回目)の当選、現在に至る。

好きな言葉は「**皇国の興廃此の一戦に在り。各員一層奮励努力せよ**」。44 歳でこの言葉を知っていること自体異様だが、堂々と口に出して言うってしまうのが、正に異端かもしれない。

嫌いな人は「大嫌い」、個性が強く実行力があり、強烈すぎるイメージがあるが、今彼に対し、ものすごく興味を抱いている人は多い。

彼の市政の実績は、世界初、日本初がいくつもある。

市の職員の大半に twitter のアカウントを与えて、職務中の「つぶやき」を奨励した。職務中のネット利用を禁止する役所や企業も多い中、しかも内容に制限つけずに twitter の利用を認めることは、かなり大胆な試みであった。更に自治体のホームページを総て Facebook に移行してしまった。このサイトで市の PB 商品の販売を始めた。地域活性化や同市のブランディングが狙いの「F&B 良品 TAKEO」。年商 10 億円を目指す。同市によると FB を活用して自治体が通販を行うのは全国初の試みという。Facebook 本社でも驚きの「革命」だ。

武雄市図書館の運営を指定管理者として民間企業のカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)に委託、TSUTAYAの書店やDVDレンタル店、コーヒーチェーンのスターバックスを併設し、館内はコーヒーを片手に読書やおしゃべりに興じる人で賑わっているという。

賛否両論うずまきつつも、いまや全国から注目を集める話題の施設となった。

朝 9 時から夜 9 時まで年中無休の図書館は、運営費は年間約 10%減、平日も駐車場は満杯、4割は市外から。オープンから半年間で来館者は前年同期の 3.6 倍にあたる 52 万人に達した。

人口わずか約 5 万人の武雄市に、年間約 100 万人の人が訪れる見込みである。

近くにある宿泊施設は稼働率が 2 倍になった。近所の飲食店も売り上げが 1.2 倍に上がっている。

広告換算だけで 20 億円の経済効果があったと試算されている。

地方の多くの人達にとって、波風たたずに静かに暮らす先に、地方が滅びていく姿を想定できる樋渡氏は、恐らく居ても立っても居られない危機感に苛まれているに違いない。

その危機感が彼の原動力になっていると思う。

反対を恐れず、揺るがぬ信念と強力な実行力のある「首長」なら、街を変えることができる！

真の「革新」の実現、その好例を樋渡市長に見た思いである。